

平成27年度 第2回 学校関係者評価委員会 報告書

1. 日時 : 平成28年3月3日(木) 16時00分～17時00分
2. 場所 : 日本福祉教育専門学校 高田校舎221教室
3. 出席者 : 委員長 肥後 義道 (医療法人社団 曙光会 コンフォメディケア小規模多機能ホーム)
委員 金川 宗正 (社会福祉法人 敬心福祉会 池袋敬心苑 施設長)
委員 松山 慎司 (社会福祉法人 西東京市社会福祉協議会 専門員)
委員 山田 幸一 (日本福祉教育専門学校 副校長)
事務局 宮田 雅之 (事務部長)
事務局 川口 朝子 (教務課)
事務局 積田 修真 (教務課)
- 書面参加 : 委員 小内 仁子 (東京都言語聴覚士会 学術局部員)
委員 渡辺 祐介 (公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会)

4. 議事

1) 敬心学園3つのこだわり : 配布資料を基に委員へ説明を行い、当校の取り組みを紹介した。(宮田)

① スチューデント・ファースト (3つのこだわり) の実現に向けて

- ・ 他校の一步先行くユニークな学び
- ・ 圧倒的な面倒見の良さ
- ・ 心に響く体験プログラム

② 敬心学園「3つのこだわり」共有シート

③ パンフレット (ソーシャル・ケア学科、介護福祉学科)

【意見交換】

- ・ この3つが選ばれた理由は何か? (肥後)
- ・ 多くの案をグルーピングし、全体を束ねて3つに集約した。ソーシャル・ケア学科のパンフレット送付により出願が増えたので、手ごたえを感じている。(宮田)
- ・ パンフレットのキャッチフレーズの意味は? (金川)
- ・ ソーシャル・ケア学科では、全く知識のない状態からスタートできる、という意味で、介護福祉学科では、お金がかからない、という意味で「ゼロから実践力の高い人に」という表現を使用している。(宮田)
- ・ 色を強くしてもいいかもしれない。説明があるとわかりやすいが、初めて見る人には伝わり辛いかもしれない。(肥後)
- ・ Pepperは常駐しているのか? (松山)
- ・ 常駐している。今週末のイベントで使用する予定である。(宮田)
- ・ Pepperの金額は? (肥後)
- ・ 198,000円に加え、ランニングコストとして月に30,000円程度。他のロボットより経済的である。(宮田)
- ・ 学校のカリキュラム内で学生が操作できると、将来的に生きるかもしれない。(松山)
- ・ プログラミングが簡単であり、顔の識別もできるので、施設での使用も考えられる。(宮田)
- ・ コミュニケーション相手として喜ばれるかもしれない。(肥後)

- ・ P e p p e r は月 5 0, 0 0 0 円でレンタルもできる。(宮田)
- ・ 当事者が講義に参加してくれる機会があるのは、とてもいい。老後の経済的なこと、ライフプランについての講義があってもいいかもしれない。(松山)
- ・ 介護ロボットに集中してしまうと学生の質が下がる可能性がある。(金川)
- ・ バランスを考える。(宮田)
- ・ 学科教員も、在学中は正しい知識を基礎からしっかり身につけ、その上での介護ロボット、という考え方である。(積田)
- ・ A L S 患者や盲導犬に触れる経験もすごくいい。(肥後)
- ・ 視覚障害者が盲導犬に指示をして動く、というのを直接感じることに意味がある。人材と設備がそろっているので、M e M o カフェのような企画もとてもいい。(松山)
- ・ 月に 1 回行っている。(宮田)
- ・ 継続して行っていくべきである。(山田)
- ・ 地域といい関係が築けているので実現した。(積田)
- ・ 防災関連も含め、地域との関係を深めていきたい。(山田)

2) 同窓会活動の強化：現在本校が行っている以下の 4 つの取り組みを説明し、更なる強化のための意見を募った。(積田)

- ①年 1 回の同窓会総会の開催
- ②同窓会新聞の発行
- ③卒後教育のサポート
- ④オープン科目等で卒業生が講師として参加

【意見交換】

- ・ 今年度の同窓会総会は 1 5 0 名程度の参加があり、盛大に行われた。(積田)
- ・ 時期は？(肥後)
- ・ 参加者の都合を考慮し、毎年秋頃開催している。2 ヶ月ほど前に通知している。(積田)
- ・ インターネットに情報をアップし、当日参加できない人もつながれるようになっている。(松山)
- ・ 特別ゲストを招く等の企画は過去にあったのか？(肥後)
- ・ 卒業生をシンポジストとして講演した。(松山)
- ・ 卒業生がライブを行うこともあった。(金川)
- ・ 退職された非常勤講師も参加してもらっている。(積田)
- ・ 実習等、目に見えないかたちで卒業生が学生をサポートしてくれているが、目に見えるかたちでも卒業生と学生・学校をつなぐ活動をしていきたい。(松山)
- ・ インターネットで情報共有している。学校の F a c e b o o k を介してつながる卒業生もいる。卒業生のための就職イベントがあるといい、という提案があった。(宮田)
- ・ 就職センターで対応することは可能なのか？(松山)
- ・ やり方次第で可能である。就職というテーマで卒業生と学校がつながることができる。卒業後の動向がわかる意味でもいいのではないか。(宮田)
- ・ 再就職支援は重要である。就職センターを活用できるといい。(松山)
- ・ 小規模な個人的な同窓会や、地方で行う会も F a c e b o o k で情報発信できるといい。(積田)

- ・ F a c e b o o k ほどの程度更新しているのか？（肥後）
- ・ 毎日更新している。 F a c e b o o k から学校ホームページへ誘導したい。（積田）
- ・ 年配の卒業生も参加しているのか？（金川）
- ・ 年代までは不明。 S N S をやらない卒業生への違った取り組み方も考えていく必要がある。紙媒体の場合、郵送のコストがかなり大きい。同窓会参加者は在学中の満足度が高いと思われるので、在学中のフォローに力を入れていきたい。（積田）
- ・ 過去にはサークル活動も盛んであったが、現在の状況は？（肥後）
- ・ サークル活動をやりたがる学生は減った。（積田）

5. おわりに

1) 次回の委員会開催日程

平成28年度の第1回委員会は7月を予定している。後日各委員へお知らせする。（積田）

2) マイナンバー導入に伴う謝礼金の支払いについて

口座振り込みへ変更となる。資料参照。（積田）

【総括】

委員の皆様にごいただいた貴重なご意見を、今後活用していきたい。（山田）

以上